

微生物簡易測定器具

SAN-AI EZ-Dip

サンアイ イージーディップ

微生物検査は培養法が最も優れた方法ですが、その測定には清浄な環境や希釈などの煩雑かつ専門的な手法が必要となります。その為、従来から種々の簡便法が工夫されていましたが、当社では現場で簡単に使用できるディップスライド方式の微生物簡易測定器具“SAN-AI EZ-Dip TTC, M”を開発しました。SAN-AI EZ-Dipは高精度かつ多用途で、微生物検査の様々な場面で活躍します。



SAN-AI EZ-Dipシリーズ

TTC 総菌数測定用
M 真菌(カビ・酵母)測定用

SAN-AI EZ-Dipシリーズの特長

- ①手軽に、簡単に使用することができ、特別な熟練を必要としません。
- ②現場で直ちに測定ができます。特別な設備は何も必要ありません。
- ③対照表と比較することにより細菌数を測定できます。軽〜中度汚染では細菌数の計測も容易です。
- ④重ねて、コンパクトに収納できます。

1 操作方法

A. ディッピングによる測定

SAN-AI EZ-Dip	フィルムを剥がす	検査検液に浸す	余分な検液を切る
培地面を上にして容器に入れる	培養する(重ねる枚数は10枚以下)	判定表との比較	判定

- ①容器から測定器を取り出し、培地に触れないように十分に注意してフィルムを剥がす。(2)
- ②培地を検液に5〜10秒程度浸す。(3)
- ③余分な検液を切り、紙タオルなどに軽くつけ検体を吸収させる。(4)
- ④培地面を上にして容器に戻し、培養する。(5,6,7)
- ⑤判定表との比較で結果を判定する。

B. プレーティングによる測定

SAN-AI EZ-Dip	フィルムを剥がす	培地面に0.1ml接種する	コンラージ棒で一面に伸ばす
培地面を上にして容器に入れる	培養する(重ねる枚数は10枚以下)	判定表との比較	生育したコロニーを計測して判定する

- ①容器から測定器を取り出し、培地に触れないように十分に注意してフィルムを剥がす。(2)
- ②培地面に検体を0.1ml接種する。(3)
- ③コンラージ棒[※]で検体を均一に伸ばす。(4)
- ④培地面を上にして容器に戻し、培養する。(5,6,7)
- ⑤判定表との比較やコロニーの計測で結果を判定する。
※コンラージ棒は付属品ではありません。

C. スタンプングによる測定

	培地を検査箇所へ押し付ける。培養後、生育したコロニーを計測して判定する。
測定場所にスタンプ	

D. 落下菌の測定

	培地面を上にして一定時間放置する。培養後、生育したコロニーを測定し、判定する。
培地面を上にして測定	

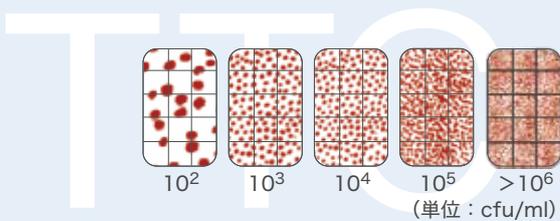
2 培養方法

	温度	時間
TTC	27〜30℃	48時間
M	27〜30℃	2〜5日間

TTCに限っては一般細菌を測定する場合、37℃・24時間の培養で判定可能です。

3 判定方法

培養期間のうち何回か観察し、TTCではコロニー（集落）の密度、Mでは孢子の密度を対象表から判定します。

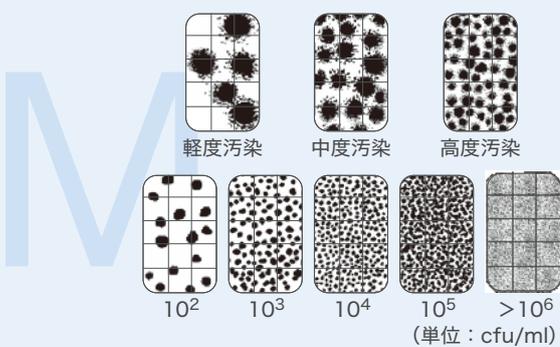


汚染度・細菌数

～10⁴：軽度汚染
10⁵～10⁶：中度
10⁶～：高度

注意

- ・大部分の細菌は赤コロニーを生じます。
- ・総菌数が10⁸cfu/ml以上の場合には融合発育を生じ、単一な赤い平面になることがあります。
- ・極めて稀にすべて無色の細菌が発育することがあるので、疑いのある場合は未使用のスライドと比較して下さい。



カビ

カビのコロニーは菌糸体、芽胞から生ずるので得られた結果は汚染の程度を示します。コロニーはスライドから採り顕微鏡で検査したり、スライド上で直接低倍率で検査できます。

酵母

コロニーは丸く、円丘状になり時々平坦で乾燥していることもあります。コロニーは白色、黄色または赤色に色づいていることがあります。コロニーはスライドから採り顕微鏡で観察したり、スライド上で直接低倍率で観察できます。

コロニーの計測方法

ディップスライドに試験検液を0.1ml塗抹する場合には、SAN-AI EZ-Dipで検出したコロニー数から試験検液中の生菌数を求めることができます。ただし、検出したコロニー数が300個以下のものに限りです。

$$\text{試験検液の生菌数 [cfu/ml]} = \text{SAN-AI EZ-Dipで検出したコロニー数 [個]} \times 10$$

4 処理方法

SAN-AI EZ-Dipの使用済みスライドは微生物が増殖していますので十分に注意して処理して下さい。

【処理方法】

- ①焼却する
- ②高圧蒸気滅菌する
- ③次亜塩素酸に2時間以上浸漬する

5 貯蔵方法

SAN-AI EZ-Dipは培養器ですので遮光して4～15℃の温度変化の少ない場所に保管して下さい。また、冷蔵庫に保管する場合は、冷気の吹き出し口付近を避け、温度調節を弱にして保管して下さい。吹き出し口付近や温度調節を弱より強い状態で保管すると、培地が変質する可能性があります。

6 取扱い上の注意事項

- ①ディップスライドを容器に出し入れする時に、容器の内側には触れないで下さい。また、作業中は容器を広げておかず、軽く閉じて下さい。手指や空気中の落下物が汚染の原因になります。
- ②フィルムを剥がす時に、培地面に触れないで下さい。また、取り出したまま長時間放置しないで下さい。手指や空気からの汚染の原因になります。
- ③ディップスライドを重ねて培養する場合は、10枚以下にして下さい。
- ④衝撃を与えないで下さい。容器破損や培地剥離の原因になります。
- ⑤期限切れの製品は使用しないで下さい。
- ⑥SAN-AI EZ-Dipは食べられません。

7 有効期限

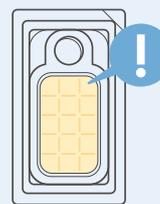
製造後12ヶ月有効（製品に有効日付を表示）

8 包装

TTC（緑パッケージ）…10枚×3袋/箱

M（黄パッケージ）…10枚×3袋/箱

!CAUTION!



SAN-AI EZ-Dip TTCは培地の色が**薄いオレンジ色**です。

SAN-AI EZ-Dip Mは培地の色が**淡い金色**です。

いずれも半透明ですのでお取り間違いのないようご注意ください。



SAN-AI EZ-Dip TTC



SAN-AI EZ-Dip M

Advice on preservation problems

当社では微生物障害の診断と対策についてお手伝いいたします。

防腐防カビ剤についての詳細な資料あるいは技術サーブス等につきましては、直接、右記にお問い合わせ下さい。

Obbli 三愛オブリ株式会社

化学品事業部 化学品部

〒100-8154 東京都千代田区大手町二丁目3番2号

TEL:03-6880-3107 FAX:03-6880-3031